

2023年6月29日

学校法人三幸学園  
スイーツ&カフェ専門学校  
校長 梅田 一成 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 遠藤 裕紀

### 学校関係者評価委員会実施報告

2022年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

##### 1 学校関係者評価委員

- ① 遠藤 裕紀 (株式会社パンセ 経営管理室 室長)
- ② 渡邊 祥夫 (仙台ターミナル株式会社 総務部 総務グループ グループリーダー  
マネージャー)
- ③ 福西 則久 (株式会社スカイパレスアソシエイツ 営業本部副本部長)
- ④ 香川 瑠璃 (株式会社福田商会 第九期卒業生)

##### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

2023年6月29日 (会場 仙台スイーツ&カフェ専門学校 801 教室)

##### 3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

## 2022年度 学校法人 三幸学園 仙台スイーツ&カフェ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 佐々木 成史

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 遠藤 裕紀

### 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、製菓・調理分野の学校として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、製菓・調理分野として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて、時間と空間をトータルプロデュースし、人の心を豊かにする人材を育成する(全ては、お客様の笑顔とありがとうのために)人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

### 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

#### ① 前年度重点施策振り返り

##### 【育てる育成像】

・素直な心、感謝の気持ち、高い意欲、自ら考え行動し社会に貢献できる人

##### 【学校運営で取り組んだこと】

- ・ 魅力的な授業展開、活気ある風土を醸成することで、退学者数の減少を目指す。
- ・ 授業見学や、実習教員の技術研修等を実施した。
- ・ 一昨年に引き続きスクールカウンセラーの設置や、週に一度担任ミーティングを実施し(隔週でスクールカウンセラーも同席)学生の情報を共有している。
- ・ 今年度もねらいのある年間スケジュールを設定している。
- ・ 学年担任制を継続しながら、2年生はチーム担任制をより仕組化するなどし、個に対する対応力や就職指導力を全体であげられるよう努め、退学者数の低減を目指したい。

2021年度 4.0%

2022年度 5.1% →主な理由:精神的理由、目標喪失が多い

2023年度 3.2%以下(目標)

#### ② 学校関係者評価委員会コメント

●渡邊委員:コロナ禍の中での教育の変化はあったか。

●加藤さん:コロナ禍でオンライン授業が増え、行事等が減った時期は人間関係の問題による退学率が低減された

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

#### ① 課題

・学校が現場での指導や求めているスキルを把握しきれていない。

#### ② 今後の改善方策

・業界のニーズを把握するため、卒業生訪問(特に2021年度生を中心に)の回数を増やし、強化する。

(2022年度卒業生はまだ就職してから間もない為2021年度が対象)

・業界のニーズに合った教育を行うための教員研修会の実施。

#### ③ 特記事項

特になし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

●緒方さん:新卒学生にどんなことを求めているか。

●渡邊委員:業界に限らず言えることだが、チームで仕事をしていくので、一緒に仕事をする仲間や相手への敬意を持って接することを求めたい。

●遠藤委員:世代間のギャップが大きくなっていく中では、自分からコミュニケーションを取れることや、先輩の志を理解し一緒に働いていける人を求めたい。

●福西委員:学校で学んできたもの以上に新しく学ぶものが多いので、技能向上心を求めたい。

また、将来像が少しでもあると良い。スキルやベースよりも、その時に経験することに対して素直に取り組んでほしい。

●香川委員:基礎(ナツペ、絞り)をしっかり学ぶことでどこのお店でも働いていくことができると思う。コミュニケーション力が大事だと考えている。特に、返事や挨拶を求める。

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

## ① 課題

・システムによる情報の効率化を引き続き検討する。

## ② 今後の改善方策

・Google classroom を活用し、情報伝達のスピードと確実性を上げる(2021 年度より継続実施)  
 ・出欠入力の WEB 化の更なる強化

## ③ 特記事項

・特になし

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

●渡邊委員:勤怠制度について、システムを通して一人ひとりの勤務時間を業務過多にならないよう調整している。RPA(定型業務の自動化)への導入で事務作業の効率化を実施している。

●福西委員:セキュリティ面を考えながら取り入れれば Google classroom などとても有効なツールである。今の世代の学生たちが何を使って情報を取りに行くのがいいのか、すり合わせをしてあげられるといいのではないかな。

## (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

## ① 課題

- ・担任及び実習教員の指導力向上
- ・悩みを抱える学生(家庭環境、友人関係、授業についてこれない など)への接し方、問題解決への対応

## ② 今後の改善方策

- ・飛鳥未来高等学校(本校姉妹校)、飛鳥未来きずな高等学校(本校姉妹校)と連携し、高校生の実情と時代背景を理解し、日頃の教務に活かす。
- ・高校分野教員による教員研修を通じて、現代の高校生の対応の仕方などタイムリーに学び、生徒指導に活かしていく。
- ・全国姉妹校と連携し、実習教員の技術研修を行い、技術向上を図る。
- ・スクールカウンセラーとの連携による学生のケア(月 1 回は学年担任ミーティングに参加をいただき情報の共有、アドバイスを頂く。)
- ・技能検定合格に向けて、合格基準に満たない学生に個別に声掛けをして、休校日に任意のフォローアップを実施。
- ・こども食堂や商品開発の実施。

・有償ゼミの実施(トップ層育成)

### ③ 特記事項

・特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- 渡邊委員:カウンセリングの告知について、どのように促しをしているのか、参考までに教えてほしい。
- 緒方さん:生徒との面談を通じて担任から勧めている。
- 佐々木さん:地域に根付く、地域創生に力を入れていくことになった際、地元での就職に繋げるために、地域の企業様と学校が連携し、学生と企業様を繋ぎ、地元への就職率を上げていきたいと考えている。
- 渡邊委員:観光農園事業を通じて、地産の果樹をスイーツ&カフェ専門学校とコラボレーションして、アレンジメニューなどを開発し、スイーツ販売などできたら面白いのではないかと。

## (4)学修成果

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

### ① 課題

・卒業後の支援や管理が不十分(卒業時の就職未決定者のフォロー、就労定着率の向上)

### ② 今後の改善方策

- ・卒業生訪問を実施し、卒業生の活躍を把握し、教務に活かす。
- ・退学率低減に伴う2023年度取り組み。
  - 1.学年担任制の管理の徹底
  - 2.教務ルールの一貫
  - 3.ねらいのある年間スケジュール(特別講習やゼミの実施)
  - 4.授業見学の実施
  - 5.学内店舗実習と他授業の連携
  - 6.就職指導は全教員が関わり実施
- ・今年10周年同窓会を開催予定。同窓会を期に卒業生同士のつながりの機会を増やす。

### ③ 特記事項

・特になし

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

●佐々木さん:教員の現在の現場感のアップデートが必要だと考えている。(現場のスピード感、スキル等)今後は学生だけでなく、教員のインターン制度も必要なのではないかと考える。1日でもいいので現場を体感できると、学生へのタイムリーな指導に活かせる為、経験をさせていただける機会があるといいと考えている。

●福西委員:現在スイーツ&カフェ専門学校で講師をしている方が私の職場に勤務しているが、現場で即戦力になっているので、非常に助かっている。学生のためになっているならとてもいいことだと思うし、相互交流できる非常にいい機会だと考える。

また、企業側も今の学校教育(学生)を知る機会が大事だと思っているので、企業から学校(学生)へ現場理解のアップデートの機会があると良い。

●遠藤委員:卒業生訪問については、先生方が会いに来てくれるだけで十分であると考えている。

また、現場では年齢が離れたベテラン世代と最近入社した世代との、世代間ギャップが広がっていることを課題に感じている。

## (5) 学生支援

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

## ① 課題

・保護者との連携強化(日中の電話連絡が繋がらない)

## ② 今後の改善方策

- ・保護者への連絡手段として、全保護者のメールアドレスを取得し連携を図る。
- ・可能な限りのICT教育を導入し、情報伝達のスピードと確実性を上げる(2021年度より継続実施)。
- ・授業参観のタイミングで保護者説明会や面談を実施する。
- ・2月に各クラスごとに保護者をお招きして料理、スイーツを提供する行事を実施(2022年度より実施)。
- ・卒業生の就職先への訪問を強化継続する。

## ③ 特記事項

・特になし

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

●遠藤委員：社会人でも保護者から勤務状況に関するクレームのような連絡が入るようなこともある。

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

## ① 課題

・防災に対する教員・学生の意識を高める。  
 ・インターンシップ実習の質を高める。

## ② 今後の改善方策

・防災訓練の担当を中心に、避難経路の確認や防災訓練を実施・継続する。  
 ・企業連携を充実させ、学生の就職へのイメージを強化する。

## ③ 特記事項

・特になし

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

●緒方さん：インターンシップについて、最低限として学生へ期待することはありますか？

●渡邊委員：コミュニケーション力、挨拶や社会人としてのマナーは備えてきてほしい。

また、企業側(インターンシップ先)は企業側の理念を感じてもらえるような内容の研修を実施することが必要だと思う。

●福西委員：先に企業を見れることは今後の学生と企業とのマッチングに活かすことができ、非常に良い機会だったと思う。その後の就職活動に活かす、選択肢を知れる機会だと考える。他の学校に比べて仙台スイーツ&カフェ専門学校は学びのバリエーションが多いと感じており、経験の場がたくさんありとてもいい取り組みだと思う。

●香川委員：返事、挨拶はもちろん、作業終了時には終了の報告や次の作業は何をすればいいですか？などと積極的にコミュニケーションを取ってほしいと思う。



## (7) 学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

## ① 課題

・本校の教育方針や特徴を十分に理解している志の高い新入生の確保

## ② 今後の改善方策

・募集活動を通じて、引き続き本校の方針・特色を伝える。

## ③ 特記事項

宮城県専修学校各種連合会が定めたルールに則った募集活動を行っている。

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (8) 財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

## ① 課題

## 【中長期計画】

なし

## 【予算・収支計画】

なし

## 【会計監査】

なし

## 【財務情報の公開】

なし

## ② 今後の改善方法

## 【中期計画】

今期は第2次中期計画(2018年度～2022年度)の達成状況等の公開と同時に、第3次中期計画(2023年度～2027年度)を公開する予定である。

## 【財務情報の公開】

なし

## ③ 特記事項

特になし

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

## ① 課題

・自己評価の実施後、課題解決策を実施するまでに時間を有している。

## ② 今後の改善方策

・自己評価を実施した上で、学校関係者評価委員会を開催し、外部評価も取り入れたうえでより精度の高い改善策を迅速に実行する(昨年度よりもさらに強化する)。

## ③ 特記事項

・特になし

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

## ① 課題

特になし

## ② 今後の改善方策

特になし

## ③ 特記事項

- ・2020年から継続して、毎年10月に本校で地域の小学生を対象とした製菓体験イベント（ハロウィンイベント）を実施している。
- ・あすと長町杜の広場にぎわいづくり協議会主催の長町夜市にて出店（2022年）。

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

●遠藤委員：地域貢献に非常に興味はあるが、本業との両立をしなければならないため、どこまで実施できるかが課題である。

## (11)国際交流

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

## ① 課題

- ・留学生に対する受け入れ体制の強化、就職先の確保

## ② 今後の改善方策

- ・留学生の母国での起業支援の模索
- ・留学生の就職先の確保

## ③ 特記事項

・特になし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

●渡邊委員：留学生について、新卒1名採用予定。言語面を優先して採用している。また、今後についても本人と求める能力がマッチングしていれば前向きに受け入れていきたい。

なお、留学生の企業受入れについては学校で手続き面でのフォローをしていただけると非常に助かる。

●遠藤委員：留学生面接を実施し採用する予定。日本語力を重視して採用をしていきたい。

入社に関する手続きは学校でのフォローをお願いしたい。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・地域密着が大きなテーマになっていくと考えている。学校にとっても企業にとっても学生、教員の行き来があることで、就職、地域活性につながるため、地域に根付く学校、企業でいたいと考える。

・実際に社会人初年度で求められる人材としては技能面もちろん必要なスキルではあるが、挨拶や会話、素直さ、報連相などのコミュニケーション能力といった人間性を重視されているため、引き続きスタートアッププログラムにて「技能と心の調和」の取れた料理人、パティシエが求められていることを伝えていく。

・技術面においては、コロナが落ち着き、外食をする機会が増え、お店で家族、友人などのお祝い事も行われる機会も増えてきているため、デザート皿盛りやチョコペンなどで絵や文字を書けることなどが個人の武器となる。授業でも積極的に取り入れていけると良い。

・店の認知度を増やすために、企業によってはインフルエンサーの力を借りている。インフルエンサーのSNSにてお店の情報を拡散することで集客に繋げている。このことから、写真の撮り方、動画の撮り方などについて深く学び、入社一年目でもSNS担当として集客、販売促進担当として戦力となれるよう指導に繋げたい。

#### 【学校関係者評価委員会コメント】

●遠藤委員：新入社員を受け入れる側としても、今後は先輩社員から新入社員への声掛けやカウンセリングなどのフォローを行っていかなくてはいけないと感じるが、新入社員側からも先輩社員の志を理解し、否定的になったりせずに、まずは受け入れるという柔軟な気持ちを持ってほしい。今後留学生を受け入れる機会があれば、資料作成、手続きなど学校でのフォローをお願いしたい。

●渡邊委員：引き続きインターンシップなどで連携できるといい。その際には学生へ企業理念などの説明を事前にしていただければ、より良いインターンシップにできると思う。地域貢献、活性についても学校と協力し、企業としても人員の確保(新卒採用)も含め引き続き連携をとると良い。

●香川委員：卒業生として、今後も学校と企業との間でできることをやれるといい。この様な他企業様の意見を聞ける機会は貴重。自分の店などでも活かせることがあれば行っていきたい。